

授業研究のための見とりの観点シート

| 本時特に育成したい資質・能力 | この授業の中で期待する資質・能力の発揮のされ方   | 資質・能力が発揮された姿の具体例（発言など）  |
|----------------|---|---|
| 情報収集力          | 各エキスパート資料から、内容を読み取り、必要なことを整理し、まとめることができる。   | <p>資料A 地球上から観察される星座の1時間ごとの動きをまとめると、1時間ごとに約15度の速さで、東の空→南の空→西の空へと移動している。地球上から観察される星座の1ヶ月ごとの動きをまとめると、1ヶ月ごとに約30度の速さで、東の空→南の空→西の空へと移動している。</p> <p>資料B 地球は、地軸を中心として1日に約1回転（約360度）、西から東に回転している。このため、正面に見えていたオリオン座が3時間後には、正面（真南）から西に約45度移動した位置に見える。</p> <p>資料C 地球は、太陽の周りを1年で360度、西から東に回転（公転）している。このため、正面に見えていたオリオン座が1ヶ月後には、正面（真南）から西に30度移動した位置に見える。</p> |
| 知識・情報活用能力      | それぞれの資料や活動で得た、知識・情報を活用（組み合わせ）して、課題に対する答えを導き出すことができる。  | <p>○ 資料A・Bから<br/>「地球上から観察される星座の1時間ごとの動き（1時間に東から西に15度移動）は、地球が1日に約360度西から東に回転していることが原因なんだ。」</p> <p>○ 資料A・Cから<br/>「地球上から観察される星座の1ヶ月ごとの動き（1ヶ月に東から西に30度移動）は、地球が太陽の周りを1年に360度西から東に回転していることが原因なんだ。」</p> <p>○ 資料A・B・Cから<br/>「10月12日 23時の星座の位置から、本日（12月12日 20時）の星座の位置を予想するには、星座の1時間ごとの動きと1ヶ月ごとの動きの2つの考えを組み合わせることが必要だね。」</p>                              |
| 協調問題解決能力       | <p>他者の説明に対して、分からない所を質問し、確認できる。</p> <p>他者からの質問に対して、相手に分かるように説明できる。</p>                           | <p>「何で?」「どうして?」「～っていうこと?」「ここもう一回説明して」</p> <p>「だから、～だよ」「ここは、～という意味だよ」「じゃけえ、～よ」</p>   |
| 科学的な表現力        | 最後の記述で、本時の学習をもとに課題に対する自分の考えを、言葉や図で記述（表現）することができる。自分の考えをまとめる際に、地球からの視点と宇宙からの視点の2つの視点で説明することができる。 | <p>①星座が見える位置は、10月12日 23時に見えた位置から15度西に動いた位置です。その理由は、まず、2ヶ月経過することで、地球の公転により60度西に動きます。次にその位置から、時間を3時間戻すので、地球の自転により45度東に動いた位置になるからです。</p> <p>②星座が見える位置は、10月12日 23時に見えた位置から15度西に動いた位置です。その理由は、まず、時間を3時間戻し、地球の自転により45度東に動きます。次にその位置から、2ヶ月経過させ、地球の公転により60度西に動いた位置になるからです。</p> <p>以上の内容を、地球からの視点と宇宙からの視点で説明している。</p>                                    |

